

【23 期生】

不登校問題を研究課題に大学院受験を希望

都内の私立大学3年生になった女子学生

大学生活 2 年を終え、教職課程と児童英語教員養成課程を昨年から継続して履修しており、これらの授業を通して大学院にて教育学や社会学の研究をするという目標に向かって日々知識を深めています。今年度は、教職課程の履修科目である「介護実習」、児童英語教員養成課程の履修科目からは公立学校とインターナショナルスクールでの実習を選択予定で、今まで以上に実践的な知識や能力を身につけていく予定です。今学期からは、教育学と社会学を中心としたゼミに所属することで、教育学・社会学の知見を広めるとともに、大学院を受験する上で研究したいテーマを絞っていきたいと考えています。

学外では、昨年の秋から不登校児童支援のボランティアに週 1、2 回参加しています。この経験を通して「不登校」という教育現場における問題を研究分野である教育学や社会学から捉え、将来の目標の糧にしたいと考えています。

大学卒業後は、教員採用試験を受ける予定でもありますが、基本的には大学院を受験し、教育学・社会学について研究を行う予定です。教職課程を履修する上で、家庭や国籍、不登校児童・生徒などマイノリティに配慮した教育について学ぶ機会が少なかったように感じたことから、まず大学院で包括的な教育を研究してから教員を目指したいです。

このように、将来の目標に向かって様々な活動を精力的に行えるのは、貴社の奨学金によるご支援のおかげです。前述の通り、今後実習や大学院受験対策、教員採用試験対策への時間が増えていく中で、アルバイトの時間を今まで通り確保することはとても難しく、貴社のご支援が必要不可欠です。これからも引き続き、学問・課外活動に向けて精進して参ります。

ツール使いこなし就職に向けてポートフォリオ作成へ

中国地方の私立短期大学2年生になった女子学生

新年度が始まり、就職に向けてのポートフォリオの作成をしています。私の学科は住居、デザインの専攻なので、ポートフォリオは今まで作成した作品をまとめて作品集のようなものにしようと考えています。

1 年の前期には、作品の作成の時に使う PC のソフトが使いこなせず、参考書を読みながら操作をしていたので、かなり時間がかかっていました。しかし、授業や課題で繰り返し作品作りをすることで、様々なツールを使いこなせるよう

になり、作品作りも前より早く、楽しんで行うことができるようになりました。2年では今までのような平面的なデザインに加え、3次元的で立体的なものについても学んでいくので、自主的に学び、よりクオリティの高い作品を作りたいです。

また、生活面でも安定した生活を送れています。家から学校までの距離が遠く、家を出る時間が早いので、寝不足にならないように早寝早起きを目標に生活してきたのですが、特に問題はなくしっかりと睡眠をとることができています。春休みの期間中、時間に余裕があった為、SNSで見た作り置きを始めました。自炊のハードルが下がったので、学校のある平日でも自炊をするように心がけています。私の大学には学生食堂で持ち帰りができるパックメニューなども販売されているので、忙しい時にはそれらを利用しています。

就職については、まだ具体的には決まっていますが、今月末に学内で行われる企業説明会に参加する予定です。建築やデザイン関係の企業以外にも、様々な分野の企業が参加されるそうなので、なるべく幅広く、多くの企業の話を知りたいと思っています。周りも就職活動で学年全体が少し焦ってくる時期になりますが、周りと比較せず、自分に合った企業を見つけられるようにガイダンスや説明会には積極的に参加していこうと思っています。